



No.4

平成22(2010)年3月

発行：南区魅力発見委員会（ニノシマボタルを育てる里人の会）

〒734-8522 南区皆実町一丁目5-44 南区区政振興課内

Tel 082-250-8935 Fax 082-252-7179

ニノシマボタルって？

日本には40種類以上のホタルがいるそうですが、水辺に生息するのは、ゲンジボタルとヘイケボタルなどわずか数種類。そのうち、似島にいるヘイケボタルにつけたブランド名がニノシマボタルです。似島ホタルの里の草を刈ったり、ホタル池の湿地(休耕田)に生えた雑草の根っこを切ったり、ちょっとだけ自然に手を入れることで、ホタルやその他の生き物が暮らしやすい環境を整える活動に汗を流しているのが「ニノシマボタルを育てる里人の会」の里人です。

清流に棲むゲンジボタルの体長は約15mm。幼虫は水中でカワニナを食べて大きくなります。一方、ヘイケボタルの体長は約8mm。大きさや光の強さではゲンジには及びません。でも夏の訪れを告げるかのように灯り始める淡い光。風情では負けません。ヘイケボタルは水田や湿地に生息しています。お米が作られなくなったり、稲作の様式が変化してきている現在、ヘイケボタルには暮らしにくい世の中になってきています。

ホタルの里のホタル池で育ったサカマキガイやヒメモノアラガイを食べて大きくなった幼虫たちは5月下旬から7月上旬にかけて巣立っていきます。例年、最も多くニノシマボタルの成虫が飛び交うのは、県内のほかの地区より早めの、6月上旬ごろです。

これからも、ずっとニノシマボタルが輝き続けますように。私たちの活動はまだまだ続きます。

似島中学校のボランティア活動

地元の大きな力

「ニノシマボタルを育てる里人の会」のメンバーは、老若男女、島内外を問いません。そのためか、島外からの参加が多い状況です。

ニノシマボタルをずっと守り育てていくためには、地元の力は不可欠です。

そこで活躍しているのが、似島中学校の生徒さんたちです。「似島ホタルの里」の整備活動の大きな力になっています。

本格的に活動を始めた平成16年から関わり、まず、サカマキガイを育てホタル池に放流しました。

そして、ホタルの里の整備には毎年大勢の生徒さんが参加してくれています。

平成20年、21年は、ホタル池の環境を変えようと田んぼを掘り返すなどかなりの重労働もしました。

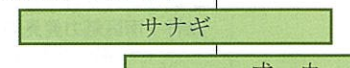
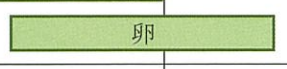
中学校にとっては、「総合的な学習の時間」です。里人との交流や似島に残された貴重な自然に触れることが、似島を見つめるよい機会となっています。

地域への愛着が深まり似島をより好きになり、卒業後は里人として次代を担う人材に育ってほしいものです。



里人の会の取組



平成 21 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8～ 10 月	11 月	12 ・1 月	2 月
ホタル の生育	幼虫 	水田から上陸 サナギ  成虫  卵 			成虫  お腹のココが 光るよ。 卵  水辺のヨコなどに うめつけられた卵			
里人の会 の取組	26 日(日) ホタル池の整備	23 日(土) ホタル池の整備	6 日(土)・7 日(日) ホタル観賞会等			14 日(土) ホタル池の整備		27 日(土) ホタル池の整備



ニノシマボタルを育てる里人の会の活動

平成16年からニノシマボタルの保護・育成を目的に、里人の会を結成し活動しています。ニノシマボタルの似島における生息は自然分布によるものか、それとも持ち込みによる人為的分布によるものかは定かではありません。しかし、保護に当たっては、オリジナリティーを確保し、ブランド名に恥じない血統の保全を目的として、“ヘイケボタルを似島へ持ち込まない、ニノシマボタルを持ち出さない”をモットーに活動しています。また、似島ホタルの里には、ホタルの天敵となるトンボの幼虫やクモもありますが、それらを排除するのではなく、似島の自然環境と共生することが大事です。



「広島ホタル人サミット」について

開催日：平成 21(2009)年 3 月 28 日(土)
会 場：南区役所別館 4 階 大会議室

ニノシマボタルを育てる活動を始めて、6 年目！ その集大成として、他の地域でホタルの育成活動を行っている三団体（岩上川ホタルを育てる会、里山環境保全みどり会、瀬野川ホタルの会）とシンポジウムを行いました。

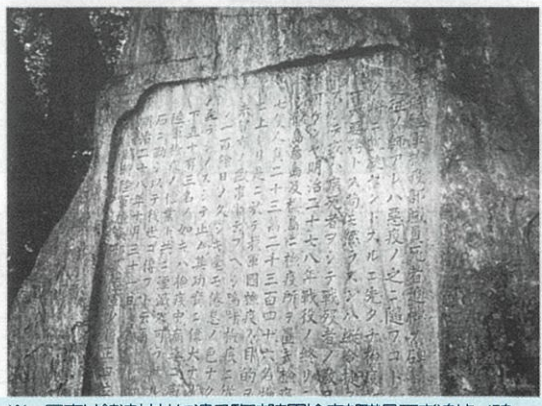
今回他団体との交流を行ったことによって、似島での活動において苦労したことや疑問に感じていたことの解決に繋がるようなヒントを思いつくことができました。これを機会に相互の定期的な交流を行い、更に実りなる活動を行っていきたいと思います。

似島を知ろうコラム【ニノシマの歴史 ①】

その1

ごとう しんぺい りんじ りくぐん けんえきぶ にのしまけんえきしょ
後藤新平と臨時陸軍検疫部似島検疫所

日清戦争が終結した明治28年（1895）6月、現在の似島学園の場所に、臨時陸軍検疫部似島検疫所が設置されました。当時、戦場となった朝鮮半島や旧南滿州地方ではコレラなどの伝染病が大流行し、この戦争に赴いた日本の将兵や軍属が祖国にそのまゝ帰ることの危険性や検疫の必要性を強力に申し入れたのが医師の後藤新平でした。正に、今日、世界的に大流行している新（豚）型インフルエンザに対応する危機管理と同一視できます。陸軍次官の児玉源太郎や野戦衛生長官の石黒忠意の強力な支援を受けた後藤は臨時陸軍検疫部事務官長として、この大事業の計画立案から検疫の実施までを指揮し、水際でこれらの伝染病の侵入を防ぎました。



※ 写真は饒津神社に遷る臨時陸軍検疫部職員死者追悼ノ碑



後藤新平像

当時この地には住民の畑がありましたが、軍が強制的に買収して建設に取り掛かり、後藤は卓越した能力と不眠不休の活動で明治28年4月初旬から5月末までの短期間で約4万3,000㎡（約1万3,000坪）にわたる土地の造成、約2万8,400㎡（約8,600坪）の建物施設群（消毒所、伝染病舎、回復舎、停留舎など）の建築及び友人の北里柴三郎に來島を依頼して高圧蒸気缶（消毒機器）類の滅菌効力の確認試験などを行いました。このとき国内に建設された検疫所は似島の他に彦島（下関）と桜島（大阪）でした。とりわけ似島検疫所は規模が巨大で、当時、世界一の検疫処理能力（約5,000名/日）を備えた施設と言われました。

ちなみに似島における検疫実績をみると、検疫人員は約17万7,000名、検疫船舶は441艘、消毒物件は42万6,000件、死体の火葬は344名、検疫所附属の避（伝染）病院内収容した患者数は1,260名（内、死亡者382名）でした。また、検疫業務に従事した職員もコレラなどに罹患し、似島で97名が、彦島と桜島を併せた三つの検疫所の合計では136名が伝染病に感染し、その内の56名が死亡しました。

その後、犠牲となった検疫所職員らを慰霊し、その功績を称える石碑「臨時陸軍検疫部職員死者追悼ノ碑」が臨時陸軍検疫部長でもあった児玉陸軍次官（当時少将）によって建立され、現在も広島市東区の饒津神社の境内に遷されています。〔文責 宮崎佳都夫〕

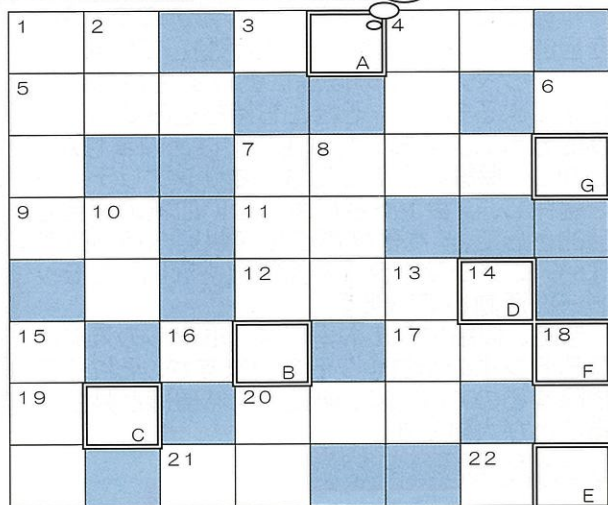
これまでの取組

年 度	ホタル 確認数	活動内容	ひとこと
平成 16 年度	20 匹	4 月から、ホタル池(休耕田)とその周辺の整備をスタート。ホタル池にブロックを置いて、はしごをかけて、大事に草取り。	休耕田にホタルが本当にいるのだろうか？
平成 17 年度	300 匹	「似島ホタルの里」の看板や観賞用ベンチを設置。「似島ホタルの里通信」の発行をはじめ。	まさか一年でこんなにもホタルが増えるとは・・・。
平成 18 年度	120 匹	ホタル観賞会への一般参加者を募集。ホタル観賞会にあわせて、コンサートやバーベキューなど盛りだくさんのイベントを実施。	天気の影響なのか？昨年よりホタルが少ないな。
平成 19 年度	50 匹	ホタル池とその周辺の整備、ホタル観賞会も定着。しかし、ホタルの数が減少。	多くの人々が来たけれど、ホタルが少なくて残念！
平成 20 年度	20 匹	さらにホタルの数が減少!! ホタルが住みよい池になるようホタル池の雑草の根切り（田おこし）を実施。	5 月の田おこしの影響で、ホタルは全く見られないのではと思ったが、少しは飛んでいて、ホッとひと安心。
平成 21 年度	300 匹	ニノシマボタルはヘイケボタルのみか、ヒメボタルはいないか疑問発生！昨年に続いてホタル池の中にスポット的に水たまりづくり。	昨年より大幅にホタルが増えたけど、池の周辺でなく、竹やぶの中に多くいた。とりあえず、活動の成果あり。

※ホタル確認数は最も多く確認された日のホタル数

クロスワード ニノシマ

ちょっと、
ひと休み！



【タテのカギ】

1. H21 (2009) 年 3 月 28 日、広島市内で環境の保護や改善を通してホタルを守り、育てている団体が集う「広島ホタル人〇〇〇〇」を開催しました。〇〇〇〇は、頂上の意。

2. 鳥獣等を生け捕りにする仕掛けのこと。カブトムシの〇〇は、ストッキング等に焼酎をかけたバナナを入れたものがある。

4. 天の川。

6. 蛍の成虫は、〇〇は葉陰などで休んでいます。夜になると光ります。

7. ヘイケ蛍の幼虫は、サカマキガイや〇〇〇〇〇〇ガイを食べて育ちます。

8. 「蛍がたくさん飛びますように。」 里人の〇〇〇〇はひとつです。

10. 「アイ 〇〇 ホタル」。ホタル大好き。

13. ホタルを育てる里人の会のメンバーは、大人から〇〇〇〇まで、幅広い年代の人がいます。

14. 種を〇〇と、芽が出ます。

15. 似島に生息するのは、大型のゲンジボタルではなく、小さい〇〇〇ボタルです。

18. 〇〇〇はお米を育てるところ。近年は、ホタルやカエル、メダカ、トンボなど、様々な生きもののゆりかごとしての役割もあるという認識が広まっています。

【問題】タテ・ヨコのカギを解いてクロスワードを完成させてください。2重ワクの文字を並べると、答えの言葉ができます。

【ヨコのカギ】

1. 谷川に住む小さなカニ。〇〇カニ。

3. お弁当に、梅干しの入った〇〇〇〇〇〇を食べました。あなたは、さんかく・たわら・丸型、どれが好き？

5. 似島は、広島市〇〇〇〇区の島です。

7. ホタル池では、広島で絶滅が心配されている〇〇〇〇〇〇のおたまじゃくしもたくさん生まれます。日本で最大級の力エルです。

9. 平成22年の干支は〇〇です。

11. 大切なことは〇〇を取るとよいですね。

12. 蛍は生息地ごとに少しずつ性質が違います。だから、他の生息地から蛍を「〇〇〇〇ない」。また、他の生息地に「持ち出さない」。これが私たち里人の合言葉です。

16. カブトムシのオスには〇〇があります。

17. お医者さんや博士を「〇〇〇〇」といいます。

19. 〇〇の上にも三年。辛抱強く、蛍の保護の活動を続けています。

20. ホタルの里の草刈りで汗をかき、〇〇〇ができました。

21. ホタル池の土の中には〇〇という昆虫がたくさんすんでいます。

前足の土かきで土を掘ります。お〇〇とも呼びます。

22. ホタルの里の整備で疲れたら、寝る前に、足の〇〇をよくマッサージして休むとよいでしょう。



★解答欄 (解答はこの通信のどこかにでてるよ！)

A	B	C	D	E	F	G

里人大募集 里人からのお願い

会では、ニノシマボタルを守り、育てていく活動に参加してくれる方を大募集しています。

活動の趣旨は、持ち込まない、持ち出さないをモットーに地元似島にひっそりと生息しているヘイケボタルを守っていこうとするもので、ホタルの里の整備や自然観察などを行っています。

毎年6月上旬には、似島臨海少年自然の家泊まってホタル観察合宿を行っています。

特に、昨年の場合、山中にホタルが乱舞し圧巻でした。天体観測会なども併せて開催するなど、とても楽しい集いでした。親子での参加も歓迎です。お子さんにとって、学校では体験できない自然とのふれあいの場がいっぱいで、素晴らしい経験になると思います。(将来の自然科学者発掘の場かも?)

地元似島や南区の皆さんはもちろん、ホタルに興味のある方ならどなたでも歓迎ですので、ふるってご参加ください。

【問い合わせ先】

南区区政振興課：Tel 082-250-8935 Fax 082-252-7179

Eメール：mi-kusei@city.hiroshima.jp

